

思い出の先生^(※1)中 21 回卒 鹿 又 幸 之^(※2)

念願の相馬中学校生徒となり、蓬田清重^(※3)さんと秀郎^(※4)さんにお世話になって、学校に通うようになったのは大正7年。風呂敷包の教科書を首にかけて、この椎木から地蔵川橋まで下り、石上—中村町—学校へと、約2里半と言われていた遠い道を下駄で通うのは大へんでした。90人募集最後の組で、受持は成田三千郎^(※5)先生。生徒心得綱領を地でゆく、学校で一番古い、厳しい恐い先生でした。時々訓戒は本当の話であるが、しかしいたかった。そのうえ5年生から講堂に集められる。ぱらっとはなして縦横に並べられ訓戒される。理事さんの上手な話に感心して聞き入っていると、そのうちだんだん厳しい怒鳴り声が出てくる。はげしくなる。いつまでもいつまでもつづく。

とんでもない学校の生徒となった、学校を止めたいと思うこともあった。でも県立の中等学校は五つしかなかったし、偉い先生ばかりいるし、上級生には菅野一郎^(※6)、鈴木直人^(※7)さんはじめ立派な人がたくさんいる。ああいう人になりたいなあと思いながらつい通う。2年となる。甲組も乙組もそのまま。受持先生も変わらない。乙組の菅又^(※8)先生の授業では『奥の細道』を芭蕉が書いていることや高山樗牛が「文は人なり」を出していることをきき、また先生は俳句の天麓先生とわかる。しかし直接俳句を習う時がなくて残念だった。

県下の運動試合で毎年よい成績をあげてくれているので喜んでいて、第1回県下中等学校弁論大会で惚れぼれする雄弁をする鈴木安蔵^(※9)さんが優勝され、優勝旗をいただいて来られた。以来山や海岸で雄弁を稽古する生徒もできた。この年テニスも野球も優勝旗をもらって来た。優勝旗3本を獲得した祝賀会を挙げる。本当に嬉しかった。選手の皆さんありがたかったよ。ご指導くださった菅又先生、テニスの斎藤^(※10)先生、野球の長坂^(※11)先生の偉大さに厚く御礼を申しあげました。同級生選手の阿部（旧姓三島）光次郎^(※12)、生駒忠^(※13)（野球）、越智英男^(※14)（テニス）の皆さんはともに健在です。

学校行事の兎狩り、発火演習、マラソン、運動会等々を忘れないが、平沢^(※15)さんがつくった二の丸運動会の杉門は偉いもので驚いた。彫刻家となる素質を持って生れて来た人だったと思う。いったい学校の目的は、知育、徳育、体育を調和させ、人間性豊かな人物養成にあるはずで、相中こそ本当の学び舎と思った。

4年2学期試験のとき、すぐそばの寄宿舎が焼けた。出火原因不明の火事が終って、休んでいたとき、斎藤丈夫先生にちょっとお伺いしたところ、先生はここに来るまでのことを述べられ、最後にこれから皆さんにお世話になりますと申され恐縮しました。成田先生は、この年ご病気で休まれることになり、こんどは斎藤先生が受持となられた。向町の成田先生のお見舞に上る。帰るとき待てよと言われたので待っていると、奥さんに一幅を出させられて、これは雌雄の鹿の絵である、記念にあげるよと、言われるまま有難く頂戴して帰りました。

5年生の6月に修学旅行。関西までも無理な旅行案を願ったので、許可されるまで日がかかった。日光、中禅寺湖、華厳滝、どこも徒歩。東京見学（原敬首相が暗殺された東京駅のその場所も通る）。ついで伊勢、京都、奈良へ。嫩草山上での斎藤先生のご説明は至れり尽せり、古代の奈良も髣髴と浮ぶ。帰りには江の島見学。雨に会う。濡れた服装で菅又先生ご関係の某書店に入る。干しながら人間社会の因縁の深さを知った。

自主的精神に充ちた心身ともに健康な人間育成に努力されておった先生がたのもとで、生徒一同も張り切っておった学校生活だったので、懐かしく思い出が多いのです。卒業後も絵や俳句の鑑賞でお世話様になった富田重俊^(※16)（死猫）先生はもう亡くなられたが、斎藤先生、鎌田昌次郎^(※17)先生はお元気。斎藤先生は92才になられたが昔同様の若さで時代の御研究、うらやましいかぎりです。

師の閑居ある日あるとき笹鳴ける

- (※1) 「相中相高八十年」1978(昭和53)年5月7日発行、「思い出の記」より。
- (※2) 大正12(1923)年卒、大野出身。
- (※3) 中第17回、大正8(1919)年卒。大野出身。
- (※4) 蓬田秀郎。中第20回、大正11(1922)年卒。大野出身。
- (※5) 相中教諭：地歴 明治31(1898)年～大正11(1922)年。
- (※6) 管野一郎。中17回、大正8(1919)年卒。福島出身。
- (※7) 中17回、大正8(1919)年卒。磯部出身。
- (※8) 菅又元之助。相中教諭兼舎監：大正4(1915)年～大正12(1923)年。
- (※9) 相中第20回、大正11(1922)年卒、小高出身。馬城かわら版第36号「弁論部の活躍・鈴木安蔵君の優勝原稿」に記載。
- (※10) 斎藤丈夫。相中教諭：物理 大正9(1920)年～昭和6(1931)年。
- (※11) 長坂嘉一郎。相中教諭 大正7(1918)年～大正11(1922)年。
- (※12) 小高出身。
- (※13) 中村出身。
- (※14) 広野出身。馬城かわら版 第204号「母校にまつわる思い出」に記載。
- (※15) 平沢信男。いわき市出身。
- (※16) 富田重俊。相中教諭：大正7(1918)年～昭和13(1938)年。
- (※17) 相中&相高教諭：英語 大正9(1920)年～昭和32(1957)年。

(転記&※脚注 村山)